

成長の階段を駆け上がるステージアッププログラム
(承認力編)

成長の階段を駆け上がるステージアッププログラム（承認力編）

I. ステージアップが求められる時代

1. 何かちょっと違う

ちょうど1年前、機械メーカーの盛長機械（仮称）の営業部で、片桐部長（仮名）が声を上げた。

「飯田さん（仮名）！ 目標予算はどれくらい達成できそうかな？ 年が明けて、年度末まであと3カ月。何かあれば相談してくれよ！」

「80%の見込みです。あと20%何とか積み上げます。では、行ってきます」と飯田は答え、営業車に乗り込んだ。彼は入社10年目の営業社員。重要得意先も任され、営業成績もそこそこ。上司からも信頼されていた。

得意先に向かう車中、「何かちょっと違うなあ」と飯田はつぶやいた。頭の中で「予算達成ねえ、毎年、毎月、同じことの繰り返し。仕事ってこんなものかなあ。子供のころに想像していた大人って、もっと輝いていたような気がするけど」と考える。ふと、携帯電話の待ち受け画面に目を向けると無邪気な息子の笑顔が写っている。正月休みの時に撮ったものだ。

「子供のころって、もっと自由に考えて大胆な発想をしていたなあ。子供も生まれでマンションも買った。はたから見れば順調な人生。そこそこ幸せだけど、“今の自分は、輝いている”と、堂々と言えるかなあ。何かちょっと違う気がする」

視線を下げると、首からぶら下げた社員証の自分が力強い眼差しでこちらを見ている。入社前、内定者懇親会で撮った写真だ。われながら将来の希望に満ちあふれた表情をしている。飯田は、ハンドルを握りながら、何となく違和感を覚えていた。

2. 今後の人生をどう過ごすか

ビジネスパーソンの置かれた状況はさまざまだ。とても充実した日々を送っている人もいれば、そこそこの幸せを感じながらも、何かちょっと違うと感じている人もいるだろう。一方で、非常に厳しい環境で苦しんでいる人もいる。それぞれのステージ

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。